

## 2025年度事業計画

### 第14(63)事業年度

自 2025年4月 1日

至 2026年3月31日

#### 基本方針

今年度の取組みは、**Activity**（活動）、**Education**（教育・情報）、**Management**（管理・運用）を事業の3本柱とし、海事思想の普及推進に加えて、海事産業の次世代人材育成支援、海洋環境の保全、安全啓発活動、マリンスポーツと新たに事業目的に加えた「アーバンスポーツ（都市型スポーツ）」が安全に楽しめる管理施設マネジメント事業等により更なる社会貢献に寄与すべく、事業を推進する。

「**Activity**」は、広く一般にマリンスポーツ等体験の機会と学ぶ場を提供し、「未来に残そう！わたしたちのマリンフィールド」をスローガンに、海洋プラスチックなどの課題をテーマとしたワークショップの実施など環境問題に取り組むとともに、自治体や**Maris** サポーター等と連携し、ライフジャケットレンタルステーションを通じて水辺活動の拡大、安全知識の普及に努める。

「**Education**」は、若い世代の進学や調査研究活動及び水辺・海洋環境の保全や海洋スポーツ活動を取り巻く課題への関心を高める次世代の人材育成と団体活動をさらに促進するために助成を強化する。また各自治体や海上保安庁、安全啓発団体と連携し、水上安全の情報発信や教育等の啓発活動を通じて、安全に楽しめる水辺環境の整備に努める。

「**Management**」は、親水護岸を有する港湾緑地公園やボート保管施設の指定管理者として、「水辺における活動と安全普及」及び「適正かつ健全な水辺利用の環境整備」を推進し、これら施設においてビーチ・アーバンスポーツを取り入れるなど施設の有効活用と適正な管理運営により更なる魅力の創出に努めるとともに、オフィスビルの管理業務を継続して行う。

以上、公益財団法人として、全ての事業活動を通じて広く一般に対し「水辺の関心と理解・安全確保・環境保全」を育む機会を提供するとともに、次世代への継承と同時に世界の開発目標である **SDGs** に取り組み、持続可能な社会の実現に向けて貢献していくものとする。

## 実施計画

### I 公益事業

(206,777,000 円)

SDGs を意識したマリンスポーツの体験と機会の提供と、水辺の安全啓発活動を展開するとともに、マリンスポーツ関連施設の管理運営を通じて、「健全な青少年の育成」、「水難事故の防止」や「マリンスポーツ活動水域の整備」に併せて、これらを周知するための有効な広報活動、資機材の整備等を行う。

#### 1. マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業

(34,020,000 円)

広く一般にマリンスポーツ体験の機会を提供し、マリンスポーツの魅力や楽しさ、環境保全意識、水辺の安全知識を広めていく。

また、地域社会と協働して海洋プラスチック問題など地球規模の課題や SDGs についてわかりやすく知ることができ、身近に感じるイベントなどを通じて、事業テーマである「未来に残そう私達のマリフィールド」の達成を目指す。

- 該当する SDGs -

14 [海洋資源]

#### (1) マリンスポーツを通じた親水活動の推進事業

##### ① 「未来に残そう私達のマリフィールド」プロジェクトの展開

SDGs14 の達成に向けて「SDGs に興味を持ち、理解し、アクションに繋げるきっかけを提供することで、マリンスポーツ愛好家や次世代を担う子どもたちとともに、未来にきれいで豊かな海を引き継ぐ活動を展開する。

##### a. 学ぶ場の提供

開催時期：5 月～3 月（15 回）

開催場所：深浦・浦賀ボートパーク・港湾緑地（神奈川県横須賀市）、神戸市立須磨ヨットハーバー、展示会他

実施内容：SDGs について、わかりやすく伝える環境系イベントやシービン等を活用した学校とのタイアップ授業を展開する。

## ② 親水イベントの開催・支援

自治体・公益団体・各地の Maris サポーター等と連携し、親水活動の協力及び開催支援を行う。

### a. 普及活動

- ・墨田川水面の祭典

開催時期：5月

開催場所：隅田公園（東京都台東区）

実施内容：体験乗船会他

目 標：参加人数 200 名

- ・Marine Sports Festival in 南紀白浜（和歌山県白浜町）

開催時期：6月

開催場所：南紀白浜（和歌山県白浜町）

実施内容：体験乗船会他

目 標：参加人数 200 名

- ・マリンスポーツフェスタ in 碧南

開催時期：10月

開催場所：勤労青少年水上スポーツセンター（愛知県碧南市）

実施内容：福祉施設等利用者向けの体験乗船会他

目 標：参加人数 200 名

### b. 水面拡充

- ・マリンスポーツフェスタ in 海の森水上競技場（東京都江東区）

開催時期：8月

開催場所：海の森水上競技場（東京都江東区）

実施内容：体験乗船会他

目 標：参加人数 300 名

- ・マリンマルシェ in 蘇我

開催時期：10月

開催場所：フェスティバルウォーク蘇我（千葉県千葉市）

実施内容：マリンスポーツデモンストレーション他

目 標：来場者数 1,000 名

## ③ ライフジャケットの着用推進活動

### a. ライフジャケットレンタルステーションの拡充

ライフジャケットの着用意識を啓発する場として、全国の海水浴

場や水辺の施設、管理者等と連携し、ライフジャケットの有効性や適切な利用法を周知することにより水辺における安全性とライフジャケット着用率の向上を図るとともに各地における事業の充実、拡大に努める。

新規開設：23ヶ所（合計80ヶ所）

整備：老朽化に伴う補充、展示ラックの新規配備

b. ライフジャケットのリサイクルに関する調査

c. ライフジャケットデザイン等の調査

ライフジャケットの着用率向上を図るため、デザインや形状、利用者意識などについて調査する。

#### ④ 次世代の人材育成

海事産業の将来的な活性化のため、次世代の担い手たる高校生ならびに大学生等の教育を支援する取組みを行う。

a. 海洋高校等に対するマリンスポーツ教育等の支援

(a) マリンスポーツ実習への協力

・開催時期：4月～10月

開催場所：神奈川県、新潟県、福井県、千葉県他

実施内容：教育カリキュラムとしてのマリンスポーツ実習

目標：5校（新規1校）

(b) 海洋高等学校等との連携イベントの開催

・体験乗船会他

開催時期：5月～9月（3回）

開催場所：能生海岸（新潟県糸魚川市）他

実施内容：マリンスポーツ体験会他

・ジャパンインターナショナルボートショー

開催時期：3月（1回）

開催場所：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）

実施内容：マリンスポーツ実習の発表会

(c) 海洋・水産高校カッター・ダイビング大会等への協力

開催時期：6月～12月（3回）

開催場所：京都海洋高等学校他

内容：運営支援

## ⑤ 広報活動の拡充

社会のニーズに合わせた広報戦略として、ホームページや SNS による世界への情報発信に、SDGs に関する発信、及び効果的に当財団の取組みをアピールし、健全で安全なマリンスポーツやアーバンスポーツの普及を促進する。

### a. ホームページ

当財団の活動「Activity」「Education」「Management」をはじめ、各事業の内容や年度スケジュール等を誰もがわかりやすく閲覧できるよう構成し、充実した運用管理をしていくことを目指す。なお、今年度は新事業であるビーチスポーツやアーバンスポーツの活動も加わることからリニューアルにて一新し、広く一般に対し発信していく。

目 標：訪問回数 78,000 回の達成

更新回数：70 回を目標（5 回／月以上）

### b. SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）

当財団のイベント情報の効率的な拡散・認知度の向上を図るため、日々情報発信をするとともに、企画配信、実地調査及び有料掲載を定期的実施し、マリン及びアーバンスポーツファン以外にも楽しんでもらえるようなコンテンツを世界に向けて、発信することで、これらスポーツの普及及びフォロワー数の増加を目指す。

#### (a) Facebook

目 標：国内におけるフォロワー数 1,000 名（90%増）

配信回数：100 回を予定

#### (b) X（旧 Twitter）

目 標：フォロワー数 3,000 名（30%増）

配信回数：150 回を予定

#### (c) YouTube

目 標：登録者数 1,100 名（15%増）

配信回数：12 回を予定

#### (d) Instagram（若年層に向けて発信）

目 標：フォロワー数 3,000 名（30%増）

配信回数：100 回を予定

リール（ショート動画）配信回数：50 回を予定

- c. その他広報に関わる活動
  - (a) ポータルサイト開設における調査
  - (b) 展示会等における事業活動の周知
  - (c) 写真・映像撮影/編集/制作
  - (d) 助成支援した活動をHP等のメディアを通じて成果を公開

⑥ Maris サポーターとの連携

当財団と事業活動や啓発活動を行う「Maris サポーター」に対して活動支援を行い、地域活動の充足を図る。

目 標：新規サポーター8 団体（合計 50 団体）

活動支援：連携活動（5 団体）

(2) 管理施設を活用したマリンスポーツの啓発事業

① 管理施設におけるマリンスポーツの啓発活動

a. Fishing party in 海辺つり公園

開催時期：6 月

開催場所：海辺つり公園（神奈川県横須賀市）

実施内容：釣り大会、水辺の安全教室他

目 標：参加人数 50 名

b. 横須賀うみかぜカーニバル

開催時期：6 月～9 月

開催場所：深浦ボートパーク、浦賀ボートパーク、うみかぜ公園

実施内容：マリンスポーツ体験、水辺の安全教室他

目 標：参加人数 500 名

c. うみかぜ公園におけるマリン・アーバンスポーツの普及啓発

開催時期：4 月～3 月（4 回）

開催場所：うみかぜ公園（神奈川県横須賀市）

実施内容：マリン・アーバンスポーツ体験、水辺の安全教室  
マリンスポーツデモンストレーション他

目 標：参加人数 100 名/回

d. 須磨エリアにおけるマリンスポーツの普及啓発

開催時期：4～11 月

開催場所：須磨エリア（兵庫県神戸市）

実施内容：マリンスポーツ体験、水辺の安全教室他

目 標：来場者数 200 名/回

(3) 調査、整備及び共通事業等

- ① 各種器材の整備・管理
- ② 関連団体との連携強化
- ③ 新規指定管理施設等の調査
- ④ 各種スポーツに関わる検討、調査

2. マリンスポーツの水上安全啓発事業 (4,000,000 円)

水難事故防止の「公助」、及び「共助」を促進する観点から、国土交通省、海上保安庁、及び水上安全啓発団体等と連携し、水域利用者への安全意識の向上を図り、水辺の安全と健全利用、環境整備に努める。

- 該当する SDGs -

3 [保健] ・ 4 [教育] ・ 17 [実施手段]

(1) 小型船舶の安全運航及び水上安全の普及啓発

① 安全講習会等の実施

関係官庁及び施設管理従事者等に対して研修や講習を通じて事故防止対策の充実や安全意識の向上を図る。

a. ウォーターセーフティエキスパート（救急救命）講習会

開催時期：未定

開催場所：兵庫県及び神奈川県他

対 象：全国の施設管理者、マリンスポーツ競技等の安全担当者他

b. 安全運航研修等

開催時期：6月～10月

開催場所：兵庫県他

対 象：運輸安全委員会・海上保安庁 他

c. TPSP 安全講習会（東京港・湾・河川 水上オートバイ安全航行推進プロジェクト）

開催時期：通年

開催回数：12回

開催場所：東京都他

対 象：東京湾の水上オートバイ利用者

d. その他安全に関わる講習会の協力

② 地域活動における安全啓発活動の充足

a. 各地対策会議及び合同パトロール、展示会の参加等

開催時期：通年

開催場所：東京都、兵庫県神戸市、明石市、愛知県名古屋市他

b. 緊急災害支援及びネットワーク構築の調査

③ マリンスポーツ競技会等における安全管理体制の協力

開催時期：5月～10月

開催場所：神奈川県逗子湾、神奈川県三浦海岸、東京都三宅島他

実施内容：オープンウォータースイミング大会他

(2) 国内外における水上安全に関する連携強化

① JBWSS (Japan Boating & Water Safety Summit) 連携協議会  
における調査研究の実施

今後の新たな方向性を調査研究することにより、この事業の継続を判断する。

② IBWSS (International Boating & Water Safety Summit) :

水上安全国際サミット (米国) への参加

US コーストガード、NASBLA (全米安全運航法管理官協会)、NSBC (米国安全運航評議会)、NWSC (米国水上安全会議) によって開催される水上安全の国際サミットに参加し、最新の水上安全、安全運航等の情報収集と、参加各国の水上安全関連機関との交流を図る。

開催場所：米国 アリゾナ州

開催時期：4月14～17日

3. マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と水上オートバイ専用施設の運営管理事業 (58,000,000円)

当財団のマリンスポーツに関するノウハウや実績を活用して、マリンスポーツ関連施設の安全管理業務を行う。

- 該当する SDGs -

3 [保健] ・ 4 [教育] ・ 13 [気候変動] ・ 14 [海洋資源] ・ 15 [陸上資源]

(1) 横須賀市立うみかぜ公園等の運営管理事業（指定管理事業）

アクティビティー等を安全で楽しめるうみかぜ公園と、本格的な釣りが楽しめる場所と多様性のある過ごし方ができる海辺つり公園の適正な維持管理、運営に努めるとともに、利用者サービスの向上や、周辺海域の安全管理、地域住民との交流などを通じて、多くの市民に愛される公園づくりを行う。

① 管理運營業務

a. SDGs を意識した施設の適正な維持管理と運営

- ・ゴミの分別廃棄
- ・イベント等における SDGs 活動

b. 施設の有効活用

- ・海浜を活用したマリンスポーツイベント等の開催や誘致
- ・公園活性化イベントの開催（マリン・アーバンスポーツ教室等）

c. 利用者サービスの向上

- ・SNS を活用した施設情報の発信

d. 来園者に対する啓発活動

- ・環境保全
- ・水辺の安全

e. 周辺海域の安全管理

- ・小型ボートによる救助体制

(2) 神戸市立須磨ヨットハーバーの運営管理事業（指定管理事業）

市営ヨットハーバーにおいて、周辺施設、関係機関と連携して、当財団の実績、ノウハウを生かしたマリンスポーツの普及、環境保全、水域の健全利用等に関する活動を推進するとともに、水上オートバイ専用施設に向けて、海上保安部、消防等公的機関、自治体との連携による活動拠点の整備を行う。

① 管理運營業務

a. 施設の適正な維持管理と施設の有効活用

② 自主事業

a. マリンスポーツの普及推進

体験乗船会や海洋スクール（教育）、SDGs 体験等

b. 安全啓発活動

- ・ライフジャケットの着用推進
- ・利用者への普及啓発

- c. 周辺海域の安全管理
  - ・ 公的機関との連携体制構築
  - ・ 関係機関との連携による水域利用者への安全指導
- d. 水上オートバイによる警戒、救助拠点の整備
  - ・ パトロール・レスキューステーションの設置
  - ・ 災害時における救助、物流等ネットワークの構築

#### 4. マリンスポーツ助成事業 (4,900,000 円)

当財団は、次世代の人材育成と海洋活動をさらに促進するため、進学や調査活動等に対する助成制度を設け、特に若い世代のマリンスポーツや水辺活動を取り巻く課題への関心を高めるとともに、水辺・海洋活動を促進する団体への課題解消の一助とする。

- 該当する SDGs -  
4 [教育] ・ 13 [気候変動] ・ 14 [海洋資源] ・ 15 [陸上資源]

##### (1) 進学及び海洋・調査活動支援

###### ① 助成対象

- a. 進学支援（学生対象）
- b. 海洋活動支援（個人・団体対象）
- c. 調査活動支援（個人対象）

###### ② 助成目標

4 団体（個人）以上に支援

###### ③ スケジュール

- a. 募集期間       : 9 月～10 月
- b. 選考委員会   : 12 月～ 2 月（2 回程度）
- c. 対象者の決定 : 3 月
- d. 給付開始       : 3 月

###### ④ 評価方法

- a. 受給者からの報告書の提出
- b. 選考委員会等で成果の発表
- c. 選考委員における現地調査

##### (2) 災害支援

激甚災害等が発生した際の被災地に対する支援について検討する。

## II 収益事業

(110,520,000 円)

指定管理業務における収益施設の管理運営や、施設利用者への啓発活動を通じて、安全運航意識の向上と水域利用の健全化を図る。なお、当事業における収益は、管理施設の修繕費等として還元するほか、小型船舶の利用振興や安全運航教育を目的とした事業に還元する。

### 1. 特殊小型船舶操縦講習事業

(700,000 円)

水上オートバイの健全利用に重点をおいた特殊小型船舶操縦免許の取得講習会を運営する。講習会においては、安全運航意識とともに環境保全意識の啓発に努める。

- 該当する SDGs -

4 [教育] ・ 14 [海洋資源]

#### (1) Maris ジェットスクールの運営事業

ボートレース場の安定した水面や快適な施設を活用して安心安全な免許取得講習会を実施する。

##### ① 試験コースの実施

開催時期：通年

開催場所：多摩川ボートレース場（東京都府中市）

桐生ボートレース場（群馬県みどり市）

##### ② 教員再研修の受講

### 2. マリンスポーツ施設の運営事業

(61,740,000 円)

当財団のマリンスポーツに関する知識やノウハウを活用して、船舶の保管施設などマリンスポーツ関連施設の管理運営を行うとともに、施設利用者の海難事故防止や、地域住民の健康増進、健全な青少年の育成に寄与するため、安全講習会の開催や、地域住民を対象としたイベントの企画開催などを行う。

- 該当する SDGs -

4 [教育] ・ 13 [気候変動] ・ 14 [海洋資源]

#### (1) マリンスポーツ関連施設の管理・運営（指定管理業務）

指定管理者として、「横須賀市立深浦ボートパーク」ならびに「横須賀市立浦賀ボートパーク」の管理運営を行う。日頃より施設の適正な維持管

理や運営に努めるとともに、安全航行の指導や、利用者サービスの向上、地域住民との交流などを通じて、市民に愛される施設づくりと SDGs を意識した管理運営を行う。

① 管理運営業務

- a. SDGs を意識した施設の適正な維持管理と運営
  - ・海洋浮遊ゴミ自動回収機（シービン）の実演展示
  - ・ゴミの分別廃棄
- b. 利用者サービスの向上
- c. 来園者に対する啓発活動
  - ・環境保全
  - ・水辺の安全
- d. 安全航行指導
  - ・ボートパーク安全講習会

② 施設の有効活用

- a. 深浦海の駅におけるビジター利用の促進と地域の P R
- b. 横須賀の魅力再発見クルーズ  
開催時期：4 月～10 月（各月 1 回）  
開催場所：深浦ボートパーク、浦賀ボートパーク

3. オフィスビル賃貸事業 (23,556,000 円)

当財団所有の AQUA ビル（地上 6 階、地下 2 階）において、当財団本部事務所として使用するほか、一般に対し事務所の賃貸を行う。

所在地 東京都中央区築地 4-3-11

賃貸施設 事務所 13 室

倉庫 3 室

業務内容 事務所及び倉庫の賃貸  
空きスペースの有効活用

III その他継続事業

1. マリンスポーツ競技等の環境整備事業 (4,600,000 円)

マリンスポーツ等水辺活動の健全な普及を図るため、マリンスポーツ競技団体等に対して活動支援を行う。

(1) マリンスポーツ競技の活動支援

① 競技団体等への活動支援